

**NEWS RELEASE**

移動体の高精度測位利用拡大に貢献  
**準天頂衛星対応センチメートル級高精度測位端末「AQLOC」発売**

三菱電機株式会社は、準天頂衛星システムからのセンチメートル級測位補強サービス(以下 CLAS<sup>※1</sup>)信号を受信できるセンチメートル級高精度測位端末「AQLOC (アキュロック)」の受注を2017年12月1日に開始し、2018年4月1日-11月1日に発売します。本製品は、世界最小レベル<sup>※2</sup>の受信機と4周波対応アンテナ<sup>※3</sup>で構成し、農機・建機・鉄道・ドローン・除雪車などの移動体に搭載することで、リアルタイムでセンチメートル級の測位ができます。今後さまざまな分野での高精度測位の利用拡大に貢献します。

※1 CLAS : Centimeter Level Augmentation Service

※2 2017年11月29日時点 2018年10月5日時点、当社調べ

※3 L1 (E1)、L2、L5 (E5)、L6 の4信号



準天頂衛星対応センチメートル級高精度測位端末「AQLOC」

**新製品の特長**

**1. リアルタイムで移動体の高精度測位を実現**

- ・準天頂衛星システムから日本全国に無償で配信 (2018 年度からサービス開始予定) される CLAS 信号を受信し、リアルタイムで移動体のセンチメートル級の高精度測位を実現
- ・ローカル補正情報 (電離層・対流圏遅延補正) を含む CLAS 信号の特長により、数秒から数十秒以下の初期捕捉時間を実現

**2. 小型・軽量設計により、さまざまな移動体に搭載可能**

- ・受信機およびアンテナに独自の構造を採用し、世界最小レベルの小型・軽量化を実現し、ドローンなどの小さな移動体へも搭載が可能

**3. 自律測位やネットワーク型測位補強情報による測位を実現**

- ・衛星からの信号を受信できないトンネルや高架下でも、受信機に搭載したジャイロと移動体からの車速パルス信号による独自アルゴリズムにより安定した自律測位を実現
- ・地上配信のネットワーク型測位補強情報 (ネットワーク型 RTK 方式 / RTCM<sup>※4</sup>2.3/3.2) による測位にも対応

※4 RTCM : Radio Technical Commission for Maritime Services

海事用無線技術委員会で規定されている GNSS<sup>※5</sup>データの標準フォーマット

※5 GNSS : Global Navigation Satellite System 全地球測位衛星システム

**発売の概要**

製品名	形名	価格	発売日
準天頂衛星対応センチメートル級高精度測位端末「AQLOC」	AQLOC-VCX	オープン価格	2018年4月1日 2018年11月1日

本製品は、2017年12月1日より受注を開始します。

報道関係からの  
お問い合わせ先

〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目7番3号 TEL03-3218-2359 FAX03-3218-2431  
三菱電機株式会社 広報部

## 発売の狙い

内閣府が整備を進めている準天頂衛星みちびきの4機体制での運用サービスが2018年度から開始される予定であり、各分野でCLAS信号を利用した高精度測位の実現が期待されています。当社は今回、準天頂衛星システムからのCLAS信号を受信できる端末「AQLOC」を市場投入し、移動体を中心としたセンチメートル級高精度測位市場の開拓を図り、準天頂衛星システムの利活用に貢献していきます。

## 主な仕様

項目	内容
対応衛星	QZSS <sup>※6</sup> (L1、L2、L5、L6)、GPS(L1、 <del>L2</del> 、 <del>L2C</del> 、 <del>L2P</del> 、L5)、Galileo(E1、E5)
対応補強信号	衛星配信:QZSS L6 地上配信:RTCM 2.3/3.2
測位方式	PPP-RTKもしくはPPP-RTK-INS複合 <sup>※7</sup>
測位精度	QZSSのL6信号をオープンスカイで受信の場合 <sup>※9</sup> ・移動体 水平位置精度:12cm以下(95%) 垂直位置精度:24cm以下(95%) ・静止体 水平位置精度:6cm以下(95%) 垂直位置精度:12cm以下(95%)
外観寸法	・受信機: <del>139(W)×94(D)×39(H)mm(ヒートシンク有)</del> <del>139(W)×94(D)×19(H)mm(ヒートシンク無<sup>※9</sup>)</del> 184(W)×98(D)×74(H)mm(ヒートシンク有) ・アンテナ:59(W)×59(D)×33(H)mm(ケーブル除く)
重量	・受信機:約 <del>650</del> 1,600g(ヒートシンク有)、 <del>約400g(ヒートシンク無)</del> ・アンテナ:約150g(ケーブル含む)

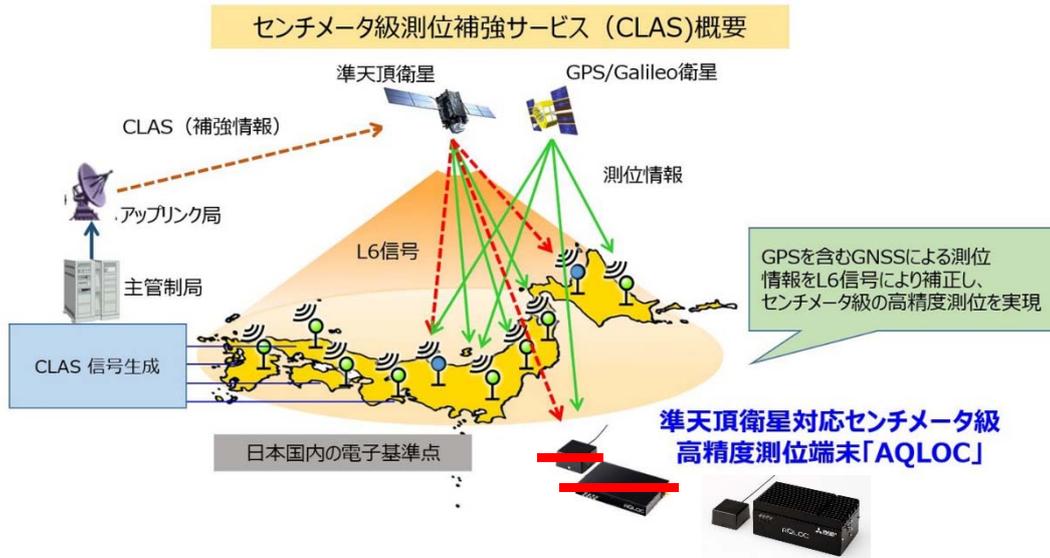
※6 QZSS: Quasi-Zenith Satellite System 準天頂衛星システム

※7 INS複合: Inertial Navigation System 複合

準天頂衛星等からの測位信号とIMU<sup>※8</sup>などの慣性センサのデータを複合し、位置・姿勢推定を行う方式

※8 IMU: Inertial Measurement Unit 慣性計測装置

※9 ~~受信機の据え付け環境により、ヒートシンクを外すことが可能~~  
電離層・対流圏の著しい変化の影響を受けない場合



## お客様からのお問い合わせ先

三菱電機株式会社 電子システム事業本部 高精度測位事業推進部  
〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目7番3号  
TEL 03-3218-9646 FAX 03-3218-2864